

2015年度 業務と実績

1) 医療事故発生時の初動対応と事例調査

<事例調査 (2015.4.1以後に決定): 計11件>

- ・外部委員を含めた事例調査会開催事例: 3件
- ・内部委員による事例調査会開催事例: 0件
- ・外部専門家を交えた合同カンファ開催事例: 0件
- ・内部専門家を交えた合同カンファ開催事例: 5件
- ・外部専門家からの意見(書)を求めた事例: 2件
- ・内部専門家からの意見(書)を求めた事例: 1件
- ・安全管理室による事例調査施行事例: 50件

<事例調査報告書 (2015.4.1以後に完成): 計9件>

- ・子宮内容除去術施行時の子宮穿孔事例 (2015.5.19 完成)
- ・術後の経過観察中断による肝転移発見遅れ事例 (2015.5.19 完成)
- ・抗がん剤と併用すべき薬剤の処方忘れ事例 (2015.6.3 完成)
- ・周術期脳梗塞発症事例 (2015.6.10 完成)
- ・内視鏡検査中、心肺停止事例 (2015.8.5 完成)
- ・大動脈瘤ステントグラフト内挿術中死亡事例 (2015.10.20 完成)
- ・ヘパリン化方法の間違いと同時期に胆嚢出血を起こした事例 (2015.11.7 完成)
- ・アンギオ横隔神経損傷事例 (2016.1.27 完成)
- ・腎機能不良患者に対する造影CT (2016.2.4 完成)

2) 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業

<対応指針の整備・改訂: 計30件>

- ・「ラテックスアレルギー対応指針 第1.0版」: 2015.5 完成
- ・「血液浄化療法マニュアル 第2.0版」: 2015.5 改訂
- ・「療養上のケアの指針 第2.0版」: 2015.5 改訂
院内で転倒し、頭部をぶつけた患者さんへ
- ・「MRI検査・CT検査・造影検査・RI検査における諸注意 第1.2版」: 2015.6 改訂
- ・「高濃度カリウム製剤取り扱い規定 第2.9版」: 2015.7 改訂
- ・「内視鏡部安全管理マニュアル 第1.1版」: 2015.7 改訂
- ・「救急カートの管理に関する取り決め 第2.1版」: 2015.8 改訂
- ・「肺移植手術における安全管理指針 第3.1版」: 2015.8 改訂
- ・「アンギオ室安全管理マニュアル 第1.2版」: 2015.8 改訂
- ・「院内事故調査の指針 第1.0版」: 2015.9 完成
院内事故調査制度に関する説明文書
京都大学医学部総合解剖センターへのアクセス
- ・「薬剤安全管理の基本方針 第1.1版」: 2015.9 改訂
- ・「麻薬管理マニュアル 第2.5版」: 2015.9 改訂
- ・「妊産婦の救急診療における基本指針 第1.0版」: 2015.10 完成
- ・「京都大学医学部附属病院における医療倫理指針 第2.0版」: 2015.10 改訂
- ・「検査・処置時の鎮静剤使用指針 第1.1版」2015.10 改訂
トリクロロロシロップ、エスクレ坐剤の患者向け説明書
- ・「手術部安全管理マニュアル 第4.4版」2015.10 改訂
手術室安全確認チェックリスト
全身・腰椎麻酔
局所麻酔(入院) 局所麻酔(日帰り)
眼科(局所麻酔) 眼科(硝子体注射)
- ・京都大学医学部附属病院における医療倫理指針 第2.0版: 2015.10 改訂
(インフォームド・コンセント基本方針含む)
- ・妊産婦の救急診療における基本指針 第1.0版: 2015.10 新規作成
- ・検査・処置時の鎮静剤使用指針 第1.1版: 2015.10 改訂
- ・手術部安全管理マニュアル 第4.4版: 2015.10 改訂
- ・内視鏡部安全管理マニュアル 第1.2版: 2015.11 改訂
- ・高濃度カリウム製剤取り扱い規程 第3.0版: 2015.11 改訂

医療安全管理室

- ・肺移植手術における安全管理指針 第 3.2 版：2015.11 改訂
- ・療養上のケアの指針 第 2.1 版：2015.11 改訂
- ・安全確認行動の手順 第 1.0 版：2015.12 完成
- ・輸血マニュアル 第 1.3 版：2016.2 改訂
- ・院内事故調査の指針 第 1.1 版：2016.2 改訂
- ・救急カートの管理に関する取り決め 第 2.2 版：2016.3 改訂
- ・京都大学医学部附属病院における医療倫理指針 第 2.1 版：2016.3 改訂
- ・インスリン安全管理マニュアル 第 3.1 版：2016.3 改訂

3) 各部門からのインシデント・アクシデントレポート収集と、サーベイランス

2015 年度の総レポート件数は 10388 件（医師 551 件）。

図 1 インシデントレポート数の推移（02～15）

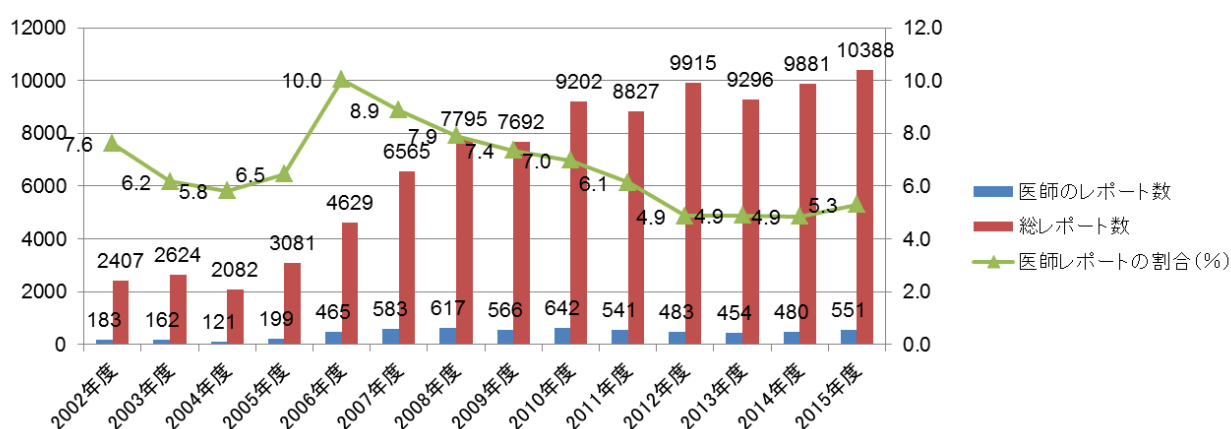


図 2 職種別レポート数（2014.4.1～2015.3.31）

看護師	8376 件	(80.6%)
医師	551 件	(5.3%)
薬剤師	435 件	(4.2%)
管理栄養士	232 件	(2.2%)
放射線技師	455 件	(4.4%)
理学療法士	70 件	(0.7%)
事務職員	68 件	(0.7%)
臨床検査技師	122 件	(1.2%)
臨床工学技士	60 件	(0.6%)
その他	19 件	(0.2%)
計	10388 件	

4) 安全に関する部門連携・委員会活動

- ・医療安全管理委員会：毎月開催。新規事例の対応方針の審議、部署内調査指導（対応 H）7 件。
- ・リスクマネージャー会議：代表者会議 9 回、全体会議 2 回開催。各部門 RM へ重要事項を伝達。
- ・院内転倒転落事故防止委員会：11 回開催。
- ・薬剤関連インシデント検討会・手術関連インシデント検討会：毎月開催。
- ・手術部会議、医療機器安全管理小委員会、医薬品安全管理小委員会、救急部運営委員会、業務標準化委員会、輸血療法委員会、がん化学療法レジメン管理委員会、医療問題対策・臨床倫理委員会、医師臨床研修 WG、ICU 運営委員会、高度治療室運営委員会、安全衛生委員会、放射線部連絡会議、放射線部清潔区域 QA 委員会、放射線品質管理委員会、情報委員会など各種委員会と連携。

5) 職員への安全教育

医療安全管理室

<医療安全に関する講習会>

- ・講演会：計 24 件
- ・「薬に関するワンポイント」 本院薬剤部 部長 松原和夫
- ・「無効なダブルチェックの理由とその対策」 医療安全管理部 看護師長 飯田 恵
- ・(Live on Seminar) 「輸液に関わるリスクマネジメント～医療訴訟の現状と事案紹介～」 大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学教室、中村・平井・田邊法律事務所 医師/弁護士/MBA 田邊 昇
- ・「今さら聞けない、輸血のABC」 輸血細胞治療部 部長 前川 平
- ・「インスリンとインシデント」 糖尿病・内分泌・栄養内科 助教 小倉雅仁
- ・「急性血液浄化療法～適応・開始時期・リスク～CHDF(ACH-Σ)装置の使用方法について」 腎臓内科 准教授 塚本達雄 医療器材部、臨床工学技士 安馬雅範
- ・「輸血の安全管理 ～インシデント・アクシデント報告より～」 輸血細胞治療部 副部長 平位秀世
- ・「一過性脳虚血発作(TIA)の重要性」「軽症くも膜下出血の見落としに関する全国調査の結果」「効果的な多職種マンパワーの活用による急性期脳卒中診療の実際」 脳神経外科 助教 武信洋平、准教授 高木康志、弘前脳卒中リハビリテーションセンター 内科副部長 目時 典史
- ・「みんなで取り組む医療安全・院内感染対策」 副病院長 一山 智
- ・世界自殺予防デー(9/10) 啓発講演「多職種で取り組む院内でのこころのケア」 臨床心理室 種村千早
- ・「今年度から始まる医療事故調査制度の概要と当院の対応について」 医療安全管理部 室長 松村由美
- ・「急性血液浄化療法～適応・開始時期・リスク～第2回目ACH-Σ取扱説明」 腎臓内科 准教授 塚本達雄、医療器材部 臨床工学技士 吉田和広
- ・「インスリン関連インシデント予防～糖尿病患者のセルフケア能力を高めるケアを考える～」 北病棟1階副看護師長(糖尿病看護認定看護師) 大倉瑞代
- ・「個人情報に気を配っていますか？」 医療情報企画部 教授 黒田知宏
- ・「今さら聞けない、輸血のABC(第2弾)」 輸血細胞治療部 部長 前川 平
- ・「治療の説明で、患者に何をどう伝えるか」 臨床研究総合センター 佐藤恵子
- ・「インシデント報告から学ぶ京大病院の転倒転落事故防止対策」 医療安全管理部 副看護師長 福村宏美
- ・「平成27年度メンタルヘルスファーストエイド(MHFA)講習」 九州大学病院 精神科 特任准教授 加藤隆弘
- ・「診療録記載における注意点～根拠法・医療安全・診療報酬請求の観点より～」 医療情報企画部 准教授、病歴管理室 副室長 田村 寛
- ・「高齢者の誤嚥を考える～当院の誤嚥事例から～」 南病棟7階副看護師長、摂食・嚥下障害看護認定看護師 浅田摩紀、リハビリテーション部 言語聴覚士 狩野聖子
- ・「医療安全教育のためのシミュレーション教育」 東京医科大学病院 シミュレーションセンター 教授 阿部幸恵
- ・「医療安全を支える医療者間コミュニケーション」 医療安全管理部 室長 松村由美
- ・「問題行動患者への対応 ～本院事例から学ぶ～」 医療サービス課(患者相談窓口)
- ・「院内に潜む薬剤性腎障害の危険とその対策」 腎臓内科 講師 松原 雄
- ・DVD上映会：計8回

<ニュース配信>

- ・転倒転落事故防止情報：計3回配布
- ・医療安全情報：計14回配布

医療安全関連学会発表・講演会

- ・京都府保険医協会 医療安全講習会(2015.4.25)
- ・医療安全管理者養成講習会(京都府看護協会)(2015.5.8)
- ・第9回 ポーラファルマシアシンポジウム(2015.5.14)
- ・臨床工学技士部会発足記念講演会(2015.5.16)
- ・日本皮膚科学会総会 教育講演(2015.5.31)
- ・日本医療マネジメント学会学術総会(2015.6.13)
- ・医仁会武田総合病院医療安全研修会(2015.6.5)
- ・国際医療リスクマネジメント学会 医療安全基礎講座2015(2015.6.26)
- ・看護管理者制度ファーストレベル講習(京都府看護協会)(2015.7.4,31)
- ・近畿管内特定機能病院連絡協議会(2015.7.24)
- ・メディエータ協会年次シンポジウム(2015.7.25)
- ・高度医療安全管理者研修(2015.8.8)
- ・医療安全全国共同行動研修会(2015.8.30)
- ・民医連中央病院(2015.9.17)

医療安全管理室

- ・日高病院 (2015. 9. 18)
- ・京都府医師会 院内医療事故調査への技術的支援に関する研修会 (2015. 9. 19)
- ・「医療情報の公開・開示を求める市民の会」シンポジウム (2015. 9. 23)
- ・西陣病院 (2015. 9. 28)
- ・宇治黄檗病院 (2015. 10. 2)
- ・大津市民病院 (2015. 10. 7)
- ・臨床倫理学応用コース (2015. 10. 10)
- ・国際医療リスクマネジメント学会 医療安全教育セミナー(上級編)2015 (2015. 10. 11)
- ・患者メンタル支援学会 (2015. 10. 24-25)
- ・倉敷中央病院 平成 27 年度秋季医療安全講演会 (2015. 11. 6)
- ・“いのちをまもるパートナーズ” 医療安全全国フォーラム 2015 (2015. 11. 21)
- ・医療の質・安全学会 (2015. 11. 22-24)
- ・医機連 安全性情報管理講習会 (2015. 12. 3, 9)
- ・東北厚生局 平成 27 年度医療安全セミナー (2015. 12. 5)
- ・京都橘大学 皮膚排泄ケア概論 補講「医療安全管理」(2015. 12. 15)
- ・近畿ブロック赤十字医療安全推進担当者会議 (2016. 2. 5)
- ・大津市保健所 (2016. 2. 9)
- ・第 3 回医療安全講演会京都府医師会 (2016. 2. 21)
- ・済生会新潟第二病院 (2016. 3. 4)
- ・第 2 回医療安全学会 (2016. 3. 5-6)
- ・第 19 回薬剤師のための勉強会 (2016. 3. 19)
- ・第 11 回筑豊 MRM セミナー (2016. 3. 25)